



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年8月13日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



陸上男子 サニブラウン選手 マイペース 秘めた可能性

13日(日)=1、3面

世界の舞台で闘うスポーツ選手は、記録への挑戦や勝負にこだわる姿勢を力強く語るイメージが定着しています。でも、この選手はちょっと違うようです。

日本陸上競技界を先導する男子短距離のサニブラウン・ハキーム選手＝

写真。好記録への期待などを話題にしても、苦笑いすることが多く、心境を熱く語ることは、ほとんどありません。ガーナ出身の父と、日本出身の母の間に生まれたサニブラウン選手は、マイペースで可能性を秘めたスプリンターなのです。

サニブラウン選手の強みは、なんと言っても走ることが大好きなこと。その性格を見抜いてきた指導者たちは、彼の特性を生かしながら育ててきました。

指導者たちの証言を交えながら、スプリンターの素顔に迫ります。

そこが聞きたい

「台湾アイデンティティー」を探る

15日(火)=オピニオン面

台湾有事のリスクに対する国際的な関心が高まる中、台湾の人々がどんな思いでいるかはあまり知られていません。

台北特派員を経験した鈴木玲子記者が、呉観人(ご・えいじん)

中央研究院台湾史研究所副研究員＝**写真**＝に、台湾アイデンティティーとは何か、核心を聞きました。台湾の民主化、特に2014年の「ヒマワリ運動」を理解することにカギがあるようです。



論点 過熱する「中受」 背景は

18日(金)＝オピニオン面



首都圏を中心に中学受験が過熱しています。私立・国立中の受験者数が過去最多を更新中です。勉強対策は4年生から始めるのが一般的と言われています。親は子どもと、どのように受験に向き合うべきなのでしょう。過熱している背景とは。教育評論家の小川大介さん**＝写真**＝や現役の受験塾長に話を聞きました。

特集ガイド

「防衛研究所」どんな集団？

16日(水)=夕刊2面



防衛省防衛研究所＝**写真**＝の연구원たちは、メディアに引っ張りだこと言っても過言ではないでしょう。

ロシアによるウクライナ侵攻が続き、北朝鮮によるミサイル発射も相次ぐ

今、豊富な知識となめらかな語り口で事態を解説する姿は、ニュース番組でおなじみとなっています。一体、どんな頭脳集団なのでしょう。東京・市ヶ谷の研究所を訪ねました。

夏休み真っ盛り。毎日新聞のポッドキャスト「今夜、Blue Post」では、毎日小学生新聞の記者が「特別編」を配信予定です。自由研究に読書感想文……親も頭を抱える「夏休みの宿題」や、親子で話したい「戦争と平和」など夏ならではのテーマまでお届けします。子育ての悩みに寄り添う「教えて五味編集長！」のコーナーも。耳活でいつもとちよつと違う夏にしてみませんか？ (甲斐有紗)

